

別記第5号様式(第8条関係)

平成28年度政務活動費収支報告書

平成29年3月31日

北広島市議会議長 佐藤敏男様

会派名 市民ネットワーク北海道

代表者名 田辺 優子



北広島市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、下記のとおり平成27年度の政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

記

1 収入 政務活動費 312,000 円

2 支出

使途基準項目	金額(円)	内 容
研究研修費	209,812円	全国政策研修会、生活保護問題議員研修会、北大サマースクールほか
調査旅費	87,500円	福岡、長崎視察研修
資料作成費		
資料購入費	4,300円	デートDV予防教育テキスト ほか
広報費		
広聴費		
要請及び陳情活動費		
合計	301,612円	

3 残額 10,388 円

注1 内容欄は、主たる内訳を記載すること。

2 支出の使途基準項目別、支払先別の調書を添付すること。

3 政務活動費を充てた経費に係る領収書(領収書を徴することが困難な場合は、経理責任者の支払証明書)の写しを添付すること。

使途基準項目別支払調書(研究研修費)

年 月 日			内 容	支出額	備考
28	8	19	全国政策研究集会(東京 8月19日・2名) 航空券	58,960	
28	8	19	同上 参加費	20,000	
28	8	19	同上 宿泊費	14,780	
28	8	19	同上 JR等交通費	9,940	
28	8	24	北大サマースクール参加費(札幌市・2名)	12,000	
28	8	24	同上 振込手数料	432	
28	8	25	生活保護問題議員研修会(富山市 8月26、27 日・1名)参加費	15,000	
28	8	25	同上 航空券	35,500	
28	8	25	同上 宿泊費	20,400	
28	10	9	ひとり親家庭サポーター養成講座参加費(小樽 市、1名)	5,000	
28	11	18	女性議員の会4TINK主催研修会(北広島市、2 名)	3,800	
29	2	10	グラフィックハーベスティング基礎講座参加費 (札幌市、2名)	8,000	
29	3	4	北海道子どもの虐待防止フォーラム(札幌市、1 名)	6,000	
合 計				209,812	

使途基準項目別支払調書(調査旅費)

年 月 日			内 容	支出額	備考
28	10	31	行政視察(10月31日~11月2日 福岡県小郡市、長崎県大村市、福岡県福祉援護課・2名) 航空券	44,200	
28	10	31	同上 宿泊費	20,200	
28	10	31	同上 交通費	11,000	
28	10	31	同上 JR等交通費	4,640	
28	11	1	同上 JR等交通費	3,100	
28	11	1	同上 タクシー代	1,720	
28	11	2	同上 タクシー代	2,640	
合 計				87,500 [~]	

使途基準項目別支払調書(資料購入費)

年 月 日			内 容	支出額	備考
28	11	1	デートDV予防教育テキスト	1,000	
28	11	25	2016自治講座資料	1,000	
28	2	22	2017年度自治体財政セミナー資料	2,300	
合 計				4,300	

市民ネットワーク北海道 視察研修報告書

期 間	平成 28 年 10 月 31 日 ～ 平成 28 年 11 月 2 日まで
-----	--

調査地選定理由	
① 小郡市	調査内容：産前産後サポートセンター 心ゆるり視察 【選定理由】子育て支援事業の拡充のため、産前産後サポート事業を先駆的に運営している事業所を訪問し、自治体との連携などについて学ぶ。
② 長崎市	調査内容：デートDV防止のための出前授業見学 【選定理由】暴力の被害者・加害者にならないための「予防教育」について、中学生向けの出前授業を行っている団体を訪ねるとともに、出前授業の現場を参観する。
③ 糟屋郡粕屋町	調査内容：福岡県自立支援事業「子ども支援オフィス」視察 【選定理由】8月19日全国政策研究集会2016（国立市）へ参加した際に得た、福岡県での子どもがいる家庭の困りごと支援の取組みについて、現地を訪問し事業内容について伺う。

<行程表>

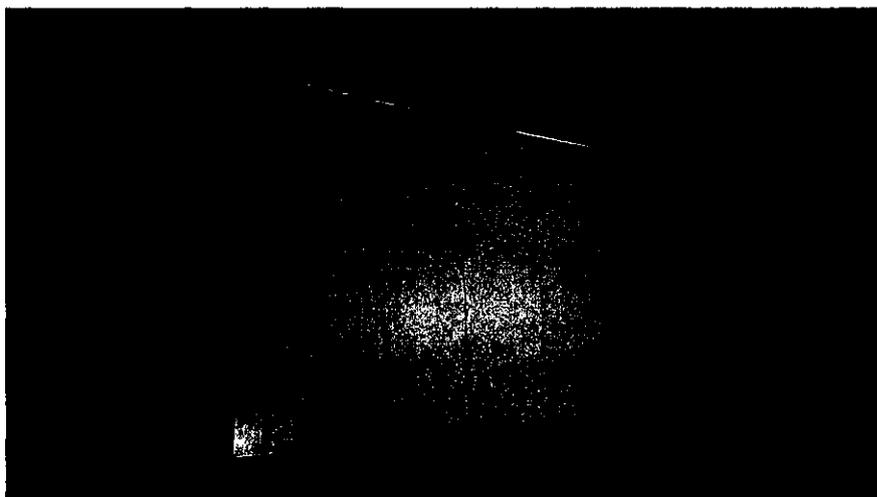
年 月 日	行 程
10月31日	9:15 市内路線バスーJR北広島駅（田辺） 新千歳空港連絡バス／高速輪厚（鶴谷） 10:30 新千歳空港 14:00 福岡空港 地下鉄～JR～タクシー 15:00 小郡市 産前産後サポートセンター心ゆるり タクシー～JR～鳥栖駅で長崎行特急に乗り換え 19:45 長崎市 長崎オリオンホテル
11月1日	11:00 JR長崎駅 13:00 JR大村駅 大村市立西大村中学校 16:00 JR大村駅 18:00 JR博多駅 18:00 ホテルニューガイア博多
11月2日	9:00 JR博多駅 9:45 JR長者原駅 10:00 子ども支援オフィス粕谷オフィス 12:00 タクシーで福岡空港へ移動 14:00 福岡空港 17:00 新千歳空港～JR北広島駅ー市内路線バス（田辺） 新千歳空港連絡バス／高速輪厚（鶴谷）

<視察者> 田辺優子、鶴谷聡美

産前産後サポートセンター心ゆるりの視察内容	報告者	鶴谷聡美
<p>小郡市にある産前産後サポートセンター「心ゆるり」は、ゆったりとした田園地域の一軒家にある。赤ちゃんが泣いても子どもの元気な声が響いても迷惑をかけない周辺環境にあることで、親子が心おきなく過ごせている。子育て支援センターが苦手で行けない母親たちの利用が多い傾向があるとのこと。最寄りの公共交通機関JR駅や路線バスが利用できない立地だが、タクシーを利用してセンターを訪れる親子も多く、私たちが乗車したタクシードライバーも認知していた。</p> <p>産後24時間サポートや母乳相談などのほか、誰でも受講できる産前産後サポート協会認定講座を開講している。講座修了時には認定証を授与し、希望する修了生はスタッフとして働くことができ、収入を生み出すしくみがセットされている。</p> <p>2013年度、厚労省産前産後ケアのモデル事業開始時に2,000名もの署名運動があったが、小郡市としての取組みには至らなかったという残念な経緯がある。一方、隣接自治体（大刀洗町）では、このセンターの産後ケアの利用料助成の取組みが開始されている。</p> <p>代表理事の豊田清子さんより「お産は日数限定、子育ては産後毎日。産後ケアはニーズの有無ではなく、無くてはならないもの。親子が向かい合って、育ち・育てることが大事です」と、産前産後事業への思いと必要性を伺った。</p>		



デートDV防止の出前授業の視察内容	報告者	鶴谷聡美
<p>長崎県では 10 年前からNPOとの協働事業でデートDV予防教育に取り組み、現在、毎年2万人以上の中・高・大学生が出前授業を受けている。</p> <p>NPO法人DV防止ながさき理事長の中田慶子さんにコンタクトを取ったところ、出向く中学校でのDV防止啓発授業（大村市立西大村中学校3年生）に参観できることとなった。1年生の時に1回目の授業を受けている学年で、本来は80分の講座内容のところを学校の授業時間に合わせて50分仕様にアレンジ。中田さんの「暴力ってどんなこと？」という問いかけに、生徒からは「たたく、傷つける、殴る、暴言、無視、精神的な暴力」と、それぞれが考え答えていた。</p> <p>中田さんは、「高校生は約半数に交際経験があり、DVの被害も出ている。予防のためには交際を始める前の中学生にデートDVについての知識や対等な関係の大切さを伝えることが効果的」と話された。</p> <p>子どもたちが将来、DVの被害者にも加害者にもならず、暴力を選ばないためには、中学生からのDV予防教育の必要性を改めて実感した。また、予防教育を実施する人材も併せて養成することが求められると考える。今後、学習会開催などの機会をつくり、当市での早期の取組みにつなげていきたい。</p>		



子ども支援オフィスの視察内容	報告者	鶴谷聡美
<p data-bbox="209 293 1362 376">対応者：福岡県自立相談支援事務所 困りごと相談室粕谷オフィス 主任相談支援員 青木康二さん</p> <p data-bbox="209 383 1362 667">子どものいる家庭の相談窓口として掲げている「子ども支援オフィス」では、子どものための相談から背景にある親の困窮支援につながっている。グリーンコープ福岡独自の生活再生相談室、県のモデル事業を経て、自立相談・家計相談支援事務所を受託し4カ所で開設。生協の県内配送ルートから寄せられた消費期限・規格外の共同購入食材や生活用品が事業所内にストックされ、相談内容に応じて手渡されている。</p> <p data-bbox="209 674 1362 902">経済的に深刻な困窮状態の家庭では、インターネット環境がないという視点で、対象世帯が多い傾向の地域に向けて、町内回覧版の活用やポスティングなど相談窓口チラシの配布に努めており、実際に相談につながっているとのこと。また、当事者の家庭内を見ることがアセスメントの近道とし、アウトリーチのできる相談員体制で対応している。</p> <p data-bbox="209 909 1362 1137">さらには、高校生の就学継続のための訪問相談支援事業（県内3カ所設置、受託事業）が、今年度スタートしたばかりとのこと。アルバイトが忙しく授業に追いつけない、勉強をする意味がわからないなどの相談に対応する準備が整備されていた。先駆的な取組みに関心が広がり、当市の支援拡充に反映できるよう探っていきたい。</p>		

